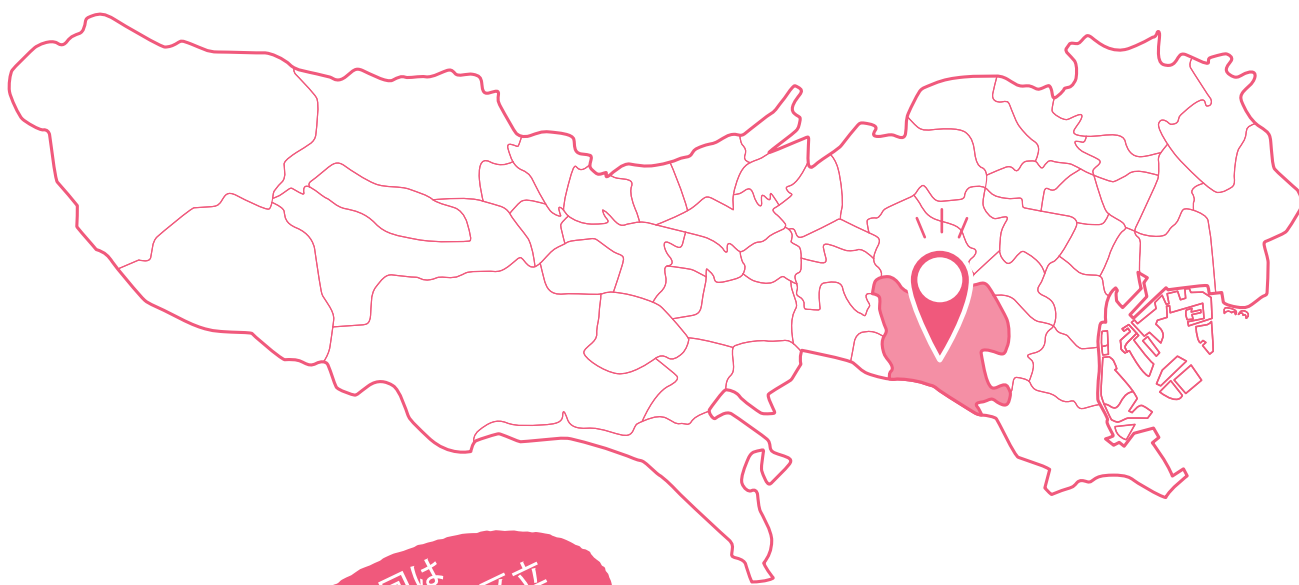


キャリア・パスポートで 「児童生徒理解」につなぐ

～ 世田谷区立尾山台小学校
「キャリアン・パスポート」より～



今回は
東京都、世田谷区立
尾山台小学校の
事例です!



一人一人の中にある

“小さな気づき”, その積み重ねと振り返りで “大きな宝物”につなげる

キャリア教育リーフレットシリーズ特別編 キャリア・パスポート特別編第4号では,世田谷区立尾山台小学校の取組を御紹介します。

平成26年当時の世田谷区立尾山台小学校の児童の実態を,「自分に自信がない」「発言が少なく,声が小さい」「他者への関心が薄く,関わりが苦手」と先生方は捉えていました。また,当時の全国学力・学習状況調査児童質問紙では,「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」においてマイナス評価が明らかとなりました。

そんな時に先生方は「キャリア教育」に出会います。校内研究を進める中で,「キャリア教育」とは「未来に向かって学びが生きている」を実感させることと考え,小学校だからこそ「キャリア教育」が必要という意識が醸成されていきました。

そして,児童に身に付けさせたい力を明確にし,それを意識しながら教育活動を行うことになりました。



身に付けさせたい力

マーク	学校全体の「身に付けさせたい力」	5年生の「身に付けさせたい力」	文部科学省の「基礎的・汎用的能力」
よ	自分のよさに気付く力	自分のよさに気づき,それを生かそうとすることができる	自己理解能力
聴	思いを受け止める力	肯定的な反応を返しながら話を聞くことができる	人間関係形成・社会形成能力
伝	思いを伝える力	自分の思いを相手に受けとめてもらおうと工夫することができる	人間関係形成・社会形成能力
チャ	チャレンジする力	自分を高めるためにめあてをもって取り組むことができる	課題対応能力 キャリア・プランニング能力

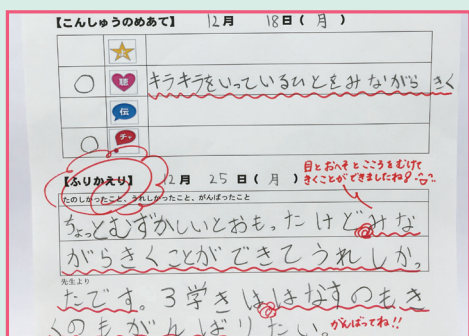
多くの学校と同じように,尾山台小学校でも日常的な振り返り活動は行われており,どの学年も振り返りの記録を一年間は掲示したり,ファイリングしたりしていました。しかし,学年を越えて振り返ったり,見通したりできるものにはなっておらず,「未来に向かって学びが生きている」ことについて,小さな気づきは得られているものの,学年で途切れがちという課題もありました。

児童の成長は
つながっているのに,
記録の方は……



そこで,学年を越えたポートフォリオ作りに挑戦することになりました。

児童が過去の自分と向き合い,将来の自分を思い描けるように,運動会・学芸会などの大きな行事の振り返りの記録や,各学年で取り組んだ学習の成果の記録を,各学年で2~3つを蓄積することになりました。こうしてできたのが,「キャリアン・パスポート」です。なお,キャリアンとは尾山台小学校のキャリア教育のマスコットです。



※尾山台小学校ふりかえりカード(低学年)より

今ある宝物
(小さな気づき)を



※尾山台小学校キャリアン・パスポートより

もっと
“大きな”

キャリアン・パスポート 【5年(6年)ツトムくん(仮名)】の事例では

5年生のめざす自分



人にやさしく, マナーを守る人

聴

ツトムくん

2学期の中頃から、5年生が学校のリーダーとなる自覚を高める指導が繰り返し行われます。

5年生2学期のふりかえり

先生がおもしろかった。にぎやかで楽しい2学期でした。



5年

5年生3学期のめざす自分



もうすぐ最高学年だから、いまのうちに最高学年としてはずかしくないようがんばりたい。

チャ

特別活動「6年生から引き継ごう」を機に、児童会・クラブ活動が6年生中心から5年生中心になります。

記録も
つながるように!



「今の内に」という言葉に自覚の高まりを感じます。最高学年といっても、特別なことをするわけではありませんよ。当たり前のことを当たり前に行うことが大事ですね。



先生より

学年の垣根を
取り払おう!



6年生のめざす自分



周りの人とちゃんと話したり, 相手の話を聞いたりする。あいさつをする。時間を守り, 見通しをもって行動する。

聴 伝 チャ

6年生1学期のふりかえり

グループで話す時にはちゃんと目を見て話すことができた。また, こまめに時計を見たり, 自分からいろんな人にあいさつをしたりできた。

聴 チャ



6年

6年生2学期のめざす自分



最高学年として言動を意識する。移動の時など周りの様子をよく見る。あいさつはできていると思うから, 自分から心がける。

よ 聴 伝 チャ

「5年生3学期の目標設定」→「教師との対話」→「6年生1学期の目標設定」→「振り返り」→「2学期の目標設定」というプロセスの中で, 学びのつながりや児童の変容を見取ることができます。振り返りや教師のコメントから児童が設定する目標の質が高まっていることも分かります。

また, **自分のよさに気付く力** **チャレンジする力** **思いを受け止める力** **思いを伝える力** に向けての努力の様子や目標の質の高まりが時系列で分かります。

宝物”に!

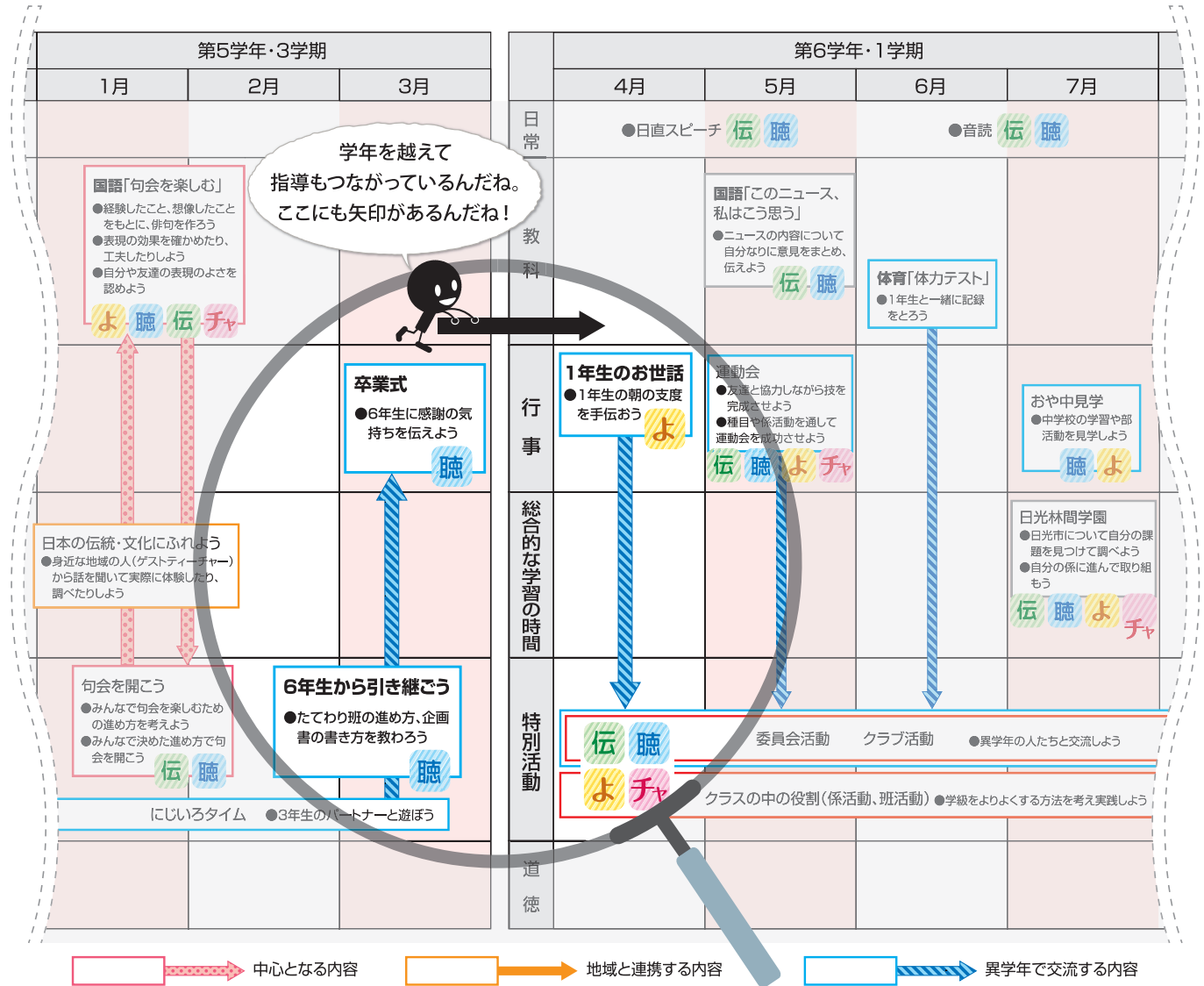


児童理解は“学年の垣根を取り払って”見取る

前ページのツトムくんの事例は、5年生から6年生にかけてのものですが、年間指導計画で見ると以下のようになります。学年を越えての指導や活動が有効につながっています。

これも、尾山台小学校で作成されている年間指導計画が具体的かつ系統的だからこそ確認できることなのでしょう。

■キャリア教育年間指導計画(平成29年度 第5学年・3学期～平成30年度 第6学年・1学期)



「6年生から引き継ごう」
 「1年生のお世話」によるツトムくんの成長の足跡がはっきり見えるね!

